

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成27年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:120)
2. 調査実施時期 平成27年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:93社 / 回答率:77.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
H26.6	-17	-28	-30	-	-	-
H26.9	-	-9	-13	-11	-	-
H26.12	-	-	-18	-2	-24	-
H27.3	-	-	-	5	-10	-11

原木在庫量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
当年	169,989	172,959	162,519	-	-	-
(前年)	158,997	150,082	115,438	144,249	169,989	172,959
対前年比	107%	115%	141%	-	-	-

(概況)

原料在庫は前年を上回る水準となっているものの、今後は概ね前年並みの水準で推移する見通し。

(回答企業の主なコメント)

今後も順調に出材/過剰傾向/平年並み/先行き不足感なし/不足感はやや落ち着いた/入荷が少ない/

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
H26.6	23	11	-1	-	-	-
H26.9	-	18	-6	-27	-	-
H26.12	-	-	-10	-43	-20	-
H27.3	-	-	-	-39	-17	-5

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
当年	208,773	215,499	209,330	-	-	-
(前年)	210,223	221,576	223,716	182,082	208,773	215,499
対前年比	99%	97%	94%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年をやや下回る水準となっており、今後は前年並みに近づく見通し。

(回答企業の主なコメント)

荷動き悪い/連休明け以降に期待/動き出すのは4月以降になると思われる/平年並み/3月いっぱいには良くない/全体に荷動きが悪い/27年度はかなり厳しい/良い要素が少ない/動きは前年より悪い/

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
H26.6	-43	-38	-26	-	-	-
H26.9	-	-8	-13	-10	-	-
H26.12	-	-	-17	-4	-22	-
H27.3	-	-	-	-7	-18	-26

原木在庫量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
当年	245,464	248,528	222,992	-	-	-
(前年)	248,342	214,987	172,795	225,777	245,464	248,528
対前年比	99%	116%	129%	-	-	-

(概況)

原料在庫は前年を上回る水準となっているものの、先行きに対しては依然として不安が残る。

(回答企業の主なコメント)

不足傾向は今後も続く/価格の上がり方を心配している/カラマツ原木の量が少ない/原木価格が一部上がってきている/

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
H26.6	46	29	6	-	-	-
H26.9	-	35	8	-14	-	-
H26.12	-	-	22	11	13	-
H27.3	-	-	-	11	11	-2

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9
当年	318,689	294,446	292,336	-	-	-
(前年)	293,145	280,925	280,344	271,336	318,689	294,446
対前年比	109%	105%	104%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年をやや上回る水準となっており、今後は前年並みに近づく見通し。

(回答企業の主なコメント)

集材工場ではラミナ材などの在庫量がだぶついている/中間までは前年並みでいくと思われる/ラミナの動きが止まっている/強含み/